

THE NEXT GENERATION  
PATLABOR



SHINOHARA AV-98 PATROL LABOR

# INGRAM

1/48 スケール 98式AV イングラム

●画像と商品とは多少異なりますのでご了承ください。画像の完成品は塗装してあります。  
BANDAI 2014 MADE IN JAPAN ●この商品には、1/48 スケール 98式AV イングラムが1セット入っています。

0193227



## ⚠ 注意

お買い上げのお客様へ 必ずお読みください。

- 本商品の対象年齢は15才以上です。対象年齢未満のお子様には絶対に与えないでください。
- 小さな部品がありますので、小さなお子様が誤って飲み込まないように注意してください。窒息などの危険があります。
- ビニール袋を頭からかぶったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。
- 尖った部分や鋭い部分がありますので、取り扱いや保管場所に注意してください。思わぬケガをする恐れがあります。
- 接着剤は口の中に入れてください。中毒の危険があります。
- 接着剤が目に入ったときは、すぐに大量の水で洗い流して、医師に相談してください。
- 接着剤は締めきった室内では使用しないでください。中毒の危険があります。

## 〈組み立てる時の注意〉

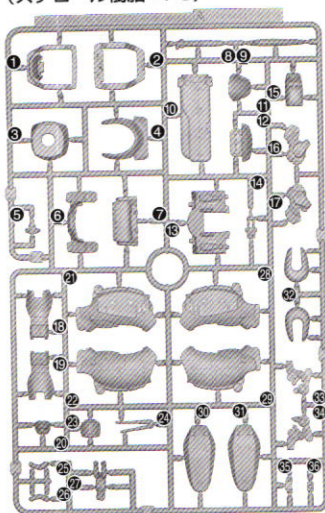
- 組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
  - 部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。切り取った後のクズは捨ててください。
  - 部品の加工の際の刃物、工具、塗料、接着剤などのご使用にあたっては、それぞれの取扱説明書をよく読んで正しく使用してください。
  - 塗装には、より安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。
  - メッキ部分の組み立てのキツイ部分は、メッキ部分をはがして組み立ててください。
  - 新素材シーリング(筒状ビニール素材)への塗装は、おすすめできません。
- ※一部の組み立てに、プラスチックモデル専用接着剤を使用する箇所があります。別にご用意ください。

## パーツリスト

(×印は使用しないパーツです。)

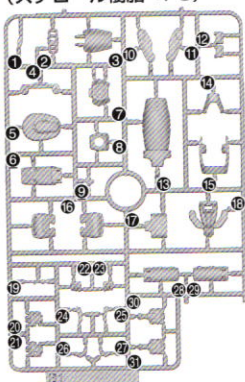
### Aパーツ(イロプラ)

(スチロール樹脂: PS)



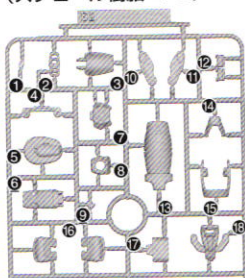
### B1パーツ(ホワイト)

(スチロール樹脂: PS)



### B2パーツ(ホワイト)

(スチロール樹脂: PS)



### B3パーツ(ゴールドメッキ)

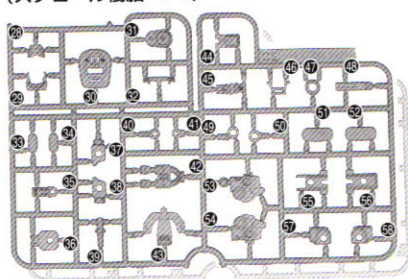
アンダーゲート有り

(スチロール樹脂: PS)



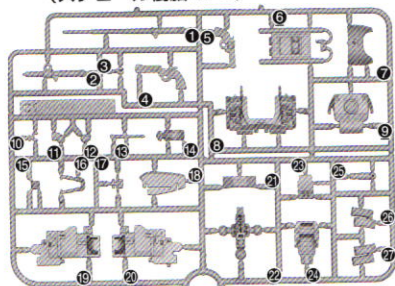
### C2パーツ(ブラック) (×2)

(スチロール樹脂: PS)



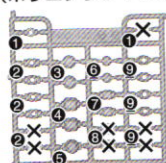
### C1パーツ(ブラック)

(スチロール樹脂: PS)



### PC-132パーツ(グレー)

(ポリエチレン: PE)



- ・カラーシール…………… 1
- ・マーキングシール…………… 1
- ・水転写式デカール…………… 1
- ・フレームカバー(細)…………… 2  
(ポリエチレン: PE)
- ・フレームカバー(太)…………… 2  
(ポリエチレン: PE)

※クリアパーツの中には、製造工程上気泡が入っているものがありますがご了承ください。

# 組み立て前の基本説明

## 水転写式デカールの貼りかた

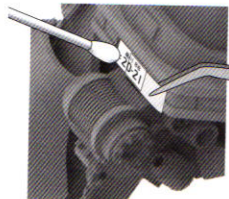
①マークに沿って切り取り、ぬるま湯に3秒程度浸し、ピンセットで引き上げます。



②台紙からデカールがずべるようになるまで待ち、表を上にしてすべらせて貼ってください。

③綿棒などで押して、気泡を取ってください。

※乾くまで手を触れないでください。

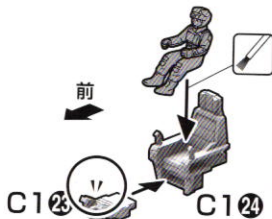


※デカールを貼る部分のキットパーツの油分をあらかじめ中性洗剤などでふきとると一層よく密着します。

※デカールを貼るための道具（ハサミ、ピンセット、綿棒など）は、別にご用意ください。

## 部品の向きに注意してください

※組み立て図中に「V」のついている部品は、形状や向きに注意して組み立ててください。



## アンダーゲートの切り取りかた

▶アンダーゲート マークの付いた部品は、下の図のようにキレイに切り取ります。

※説明書で「アンダーゲート」と表記されているパーツには裏側等にゲートがあります。  
※の印が付いている部分は忘れないようにきれいに切り取ってください。

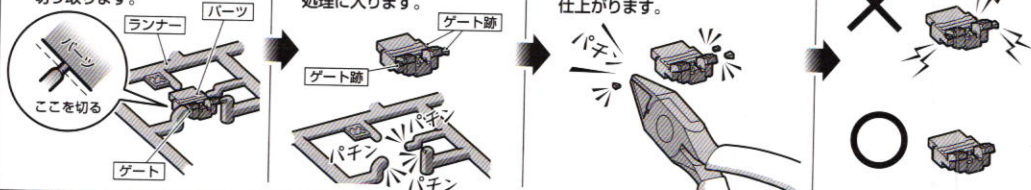


## パーツの切り取りかた

①まず、パーツから少し離れた位置にニッパーの刃を入れて切り取ります。

②パーツを切り離して持ちやすくなったところでゲート跡の処理に入ります。

③ニッパーの刃をパーツに密着させてゲートを切り取れば、きれいに仕上がります。



（お買い上げのお客様へ）万が一部品に不良品がありましたら、その部品を取りはずし、商品名、部品の記号、部品番号、不具合の症状を書いて、下記までお送りください。良品と交換させていただきます。また、部品をこわしたり、なくした場合は部品通販をご利用ください。代金は料金表を参照していただき、商品番号/商品名/部品の記号/部品番号/数量を明記していただき、部品注文カード（部品注文カードのコピー、手書き可）、部品代+送料の料金（100円単位を定額小為替、100円未満を切手）と共に封書にてお送りください（封書の裏に必ずお客様のお名前/ご住所/年齢をお書きください）。送料は実際に部品をご用意した際の重量によって変わります。また、別途手数料が必要な送付方法をご希望の場合、別料金となります。料金の不足分はご請求、超過分は残額をお返し致します。ただし、それ以外にかかった手数料等はお客様の負担となります。在庫がない場合は誠に申し訳ございませんがご注文をお返し致します。ご購入いただきました個人情報につきましては、商品・部品の発送及び情報の提供以外には使用致しません。部品注文の方法は、HPでもご紹介しております。詳しくは [http://bandai-hobby.net/SC/2007/10/post\\_55.html](http://bandai-hobby.net/SC/2007/10/post_55.html) ▶「部品注文のしかた」をご参照ください。通信費等はお客様の負担となります。※お送りした部品に不良がある場合を除き、お客様都合での注文内容の変更、キャンセル、交換、返品は受け付けておりませんので予めご了承ください。

## FOR USE IN JAPAN ONLY.

部品注文カード

0193227

1/48SCALE

98式AV イングラム

必要な部品の記号・番号・数量をかく

●注文された理由（○で囲む）（こわした/なくした）

・日中で連絡可能な電話番号 ・年齢  
( ) ( ) 才

R2267182

'14.09

2014.09/T・ON

※コピー使用可

■申し込み先 〒420-8681 静岡県静岡市葵区長沼 500-12  
(株)バンダイ静岡相談センター TEL 054-208-7520

（料金表）●部品代、送料は切り取った1個の料金です。

部品番号	取扱説明書	B3◎	シール類・フレームカバー	その他の部品
部品代	150円	80円	各60円	各60円
郵送料	140円	120円	82円	120円

●部品の価格および送料は変更する場合があります。部品代には、消費税が含まれています。郵送料が改訂された場合は新料金が適用されます。

・電話受付時間 月～金曜日  
(祝日を除く) 10:00～16:00  
・電話番号はよく確かめてお間違いのないようご注意ください。

# BODY UNIT



## 01-1 [胸部の組立]

### BODY UNIT

※マーキングシールと水転写式デカールの貼りかたは15ページを参照してください。

※切り取らないように注意してください。

〈後ろから見た図〉

前

A26

A27

A25

警視庁

※画像の完成品は塗装してあります。

※シールは先に貼ります。

12

13 特2

※画像の完成品は塗装してあります。

向きをかえます。

前

C123

C124

C119

PC5

## 01-2

C125

C120

C117

C248

C241

C116

C241

C248

## 01-3

C232

A18

C232

2

1

前

〈上から見た図〉

C239

! C239

C18

## 01-4

〈横から見た図〉

! C121

C126

A3

C127

前

〈上から見た図〉

C126

C124

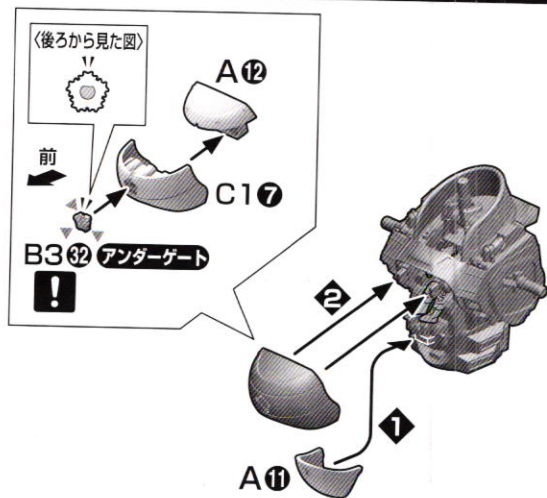
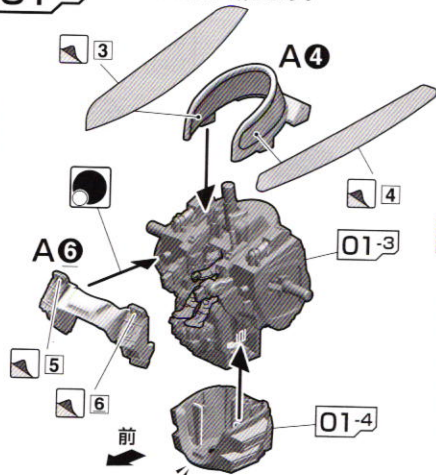
A3

C127

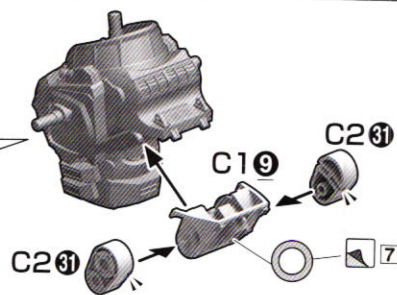
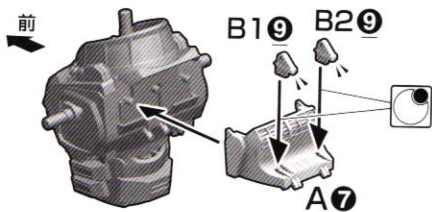
前

# 01-5

※シールは先に貼ります。



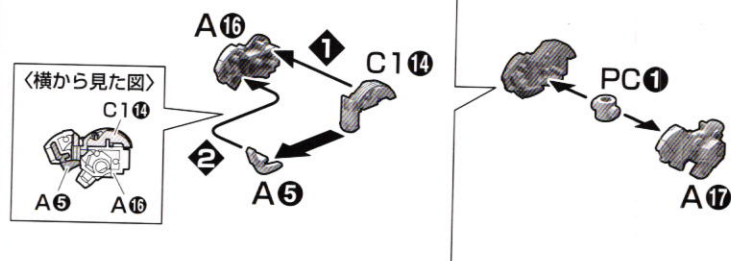
# 01-6



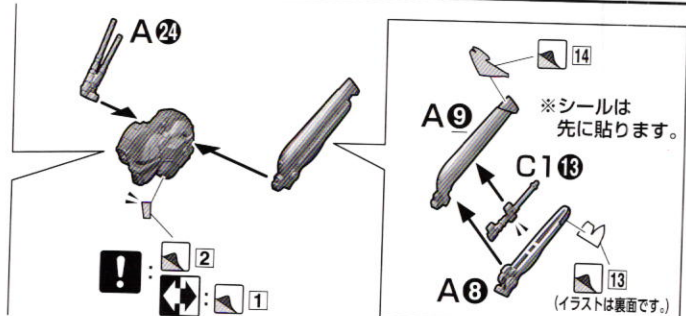
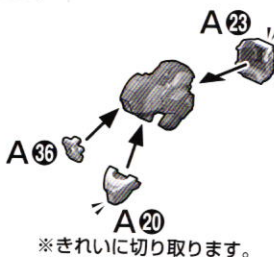
# HEAD UNIT



# 02-1 [頭部の組立] HEAD UNIT



# 02-2



※組立図中の記号説明

1 シールの番号

● 後ろから組み立てる

! 向きに注意して組み立てる

● 先に組み立てる

↔ 反対側に取り付けるパーツ

# ARM UNIT



## 03-1 【腕部の組立】

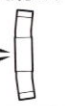
### ARM UNIT

x2

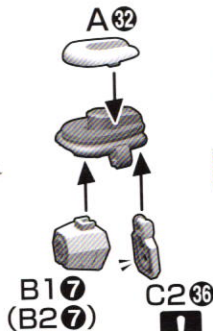
(B2⑥)  
B1⑥



〈上から見た図〉

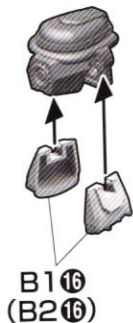


B1④  
(B2④)



B1⑦  
(B2⑦)

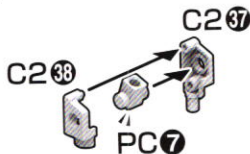
C2③⑥



B1⑥  
(B2⑥)

## 03-2

x2



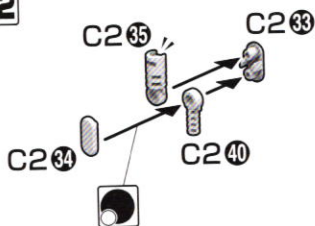
C2③⑧

C2③⑦

PC⑦

## 03-3

x2



C2③⑤

C2③③

C2③④

C2④①



※奥まで  
しっかりと、  
はめ込みます。

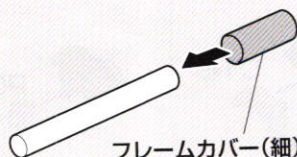
PC⑨

## 03-4

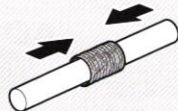
x2

1. ボールペン等、ほど良い太さの棒に  
フレームカバー(細)を通します。

2. 両端を持って、フレーム  
カバー(細)にシワをつけます。



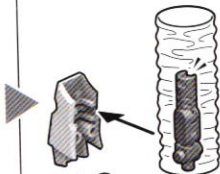
フレームカバー(細)



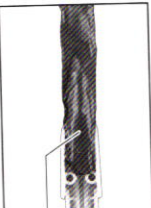
## 03-5

x2

フレームカバー  
(細)



B1⑥  
(B2⑥)



※フレームカバーを  
たたくて取り付け  
ます。

## 03-6

x2

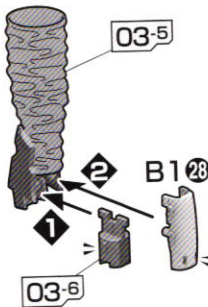


C2④④

PC⑥

## 04-1 【右腕の組立】

### RIGHT ARM



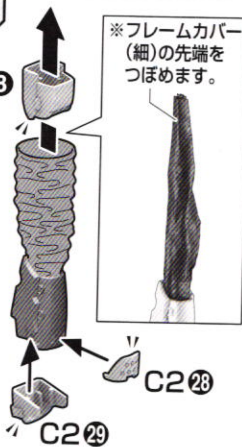
03-5

03-6

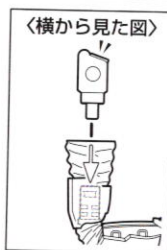
B1②⑧

## 04-2

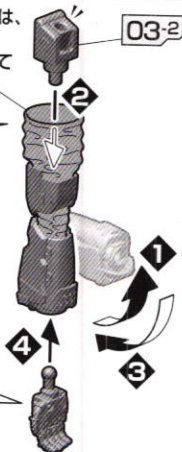
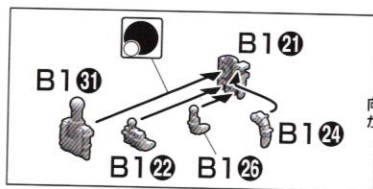
B18



<横から見た図>



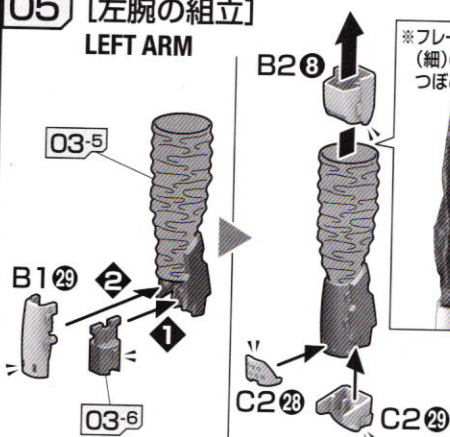
※フレームカバー(細)は、お好みの長さにカットして調整してください。



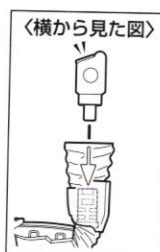
## 05 [左腕の組立]

LEFT ARM

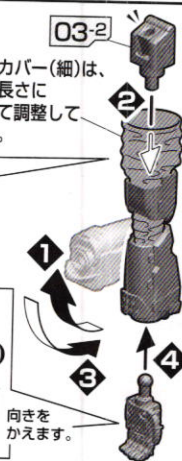
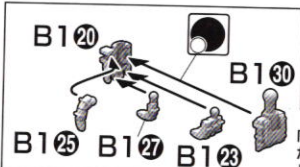
B28



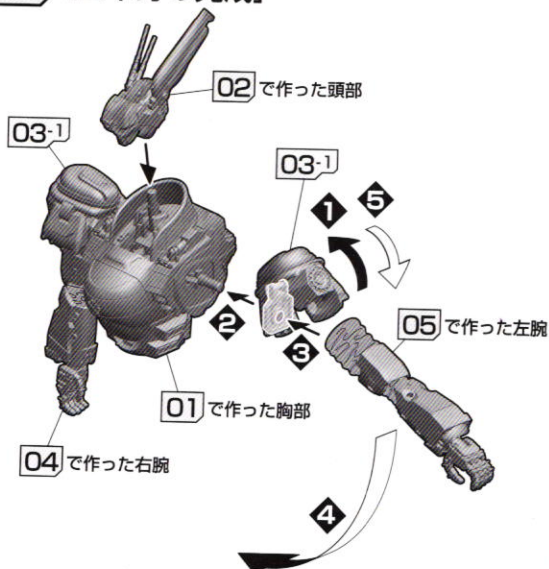
<横から見た図>



※フレームカバー(細)は、お好みの長さにカットして調整してください。



## 06 [上半身の完成]



## LEG UNIT



※組立図中の記号説明



後から組み立てる

# THE NEXT GENERATION PATLABOR

## introduction

1988年以降、コミック・ビデオグラム・映画・小説など先駆的にメディアミックス展開を繰り返して、世を超えた多くのファンを獲得し、アニメ史に残る空前の大ヒットを記録した『機動警察パトレイバー』シリーズ。その誕生から約四半世紀、アニメシリーズの初期OVA・劇場版(1&2)でも監督を務めた押井守を総監督に迎え、登場人物を世代交代した完全オリジナル新作として、まさかの実写化が実現した!

## story

ロボットテクノロジーの発達で登場した汎用人型作業機械「レイバー(Labor)」は急速に発展・普及し、軍事・民生を問わずあらゆる分野で使用されるようになった。特に東京を含む首都圏では、国家プロジェクトである「パビロンプロジェクト」のため、その大半が集中していた。だがその結果、レイバーによる事故や犯罪行為が多発し社会問題となった。このため警視庁は本庁警備部内に特科車両二課を創設し、これに対抗した。通称特車二課パトロールレイバー中隊。パトレイバーの誕生である。

そして月日は流れ、パビロンプロジェクトが一段落ついた2013年東京。

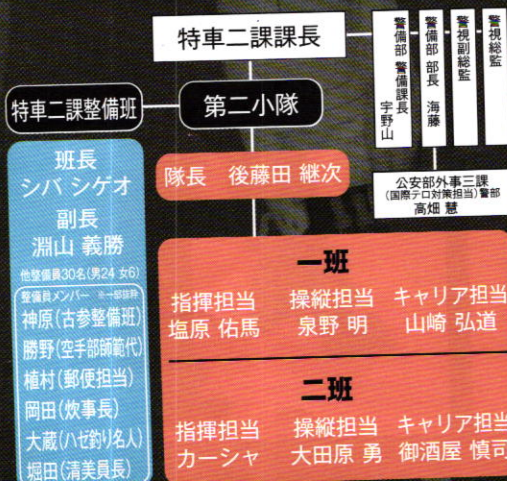
長期の不況により手間とお金のかかる「レイバー」はお払い箱になっていた。同じように、特車二課の第一小隊は解散。第二小隊はレイバー運用経験の継続という名分のもと、かろうじて存続している状況である。そんな時代に取り残されたように、『98式 Ingram』だけは栄光の初代、無個性の二代目、無能の三代目と引き継がれていった。

今作は特車二課存続問題が見え隠れする中、奮闘する「三代目」らの物語である。

## 特科車両二課(特車二課)

続発するレイバー犯罪に対応するため、鳴り物入りで組織された。だが実態は機材も人員も「お荷物」だらけの寄せ集め部隊だった。それから10年あまり、解体と再編制による世代交代、さらに平成不況の余波を受け、部隊の規模縮小を余儀なくされた特車二課は警視庁内におけるレイバー技術の継承のみを目的とした継続が許される有様。しかも三代目となる隊員たちは周囲から「無能」と呼ばれ、一部では解散も間近と噂されているのだが...

### 特車二課 指揮系統図



## Each part explanation



### メインカメラ

前方視界を確保する大型カメラ・アイ。この他にサブカメラとバックカメラがあり、周囲の状況をモニターに投影する。

メインカメラにはクリアパーツを使用。

### バトランプ

両肩部に設置された大型赤色灯。通常は赤色点灯だが、暗所用に白色灯も用意されている。



バトランプは赤いクリアパーツで表現。



### コックピット

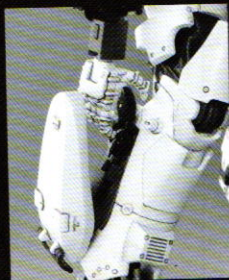
胸部に位置し、パイロット1名が搭乗する。通常はモニターを介した操縦だが、精密射撃時には肉眼による照準も可能。

コックピットはハッチが開閉。内部計器類も精密に再現。

### マニピュレーター

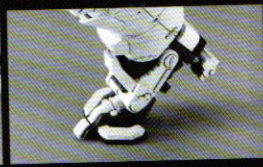
人間の五指を模した形状が特徴。そのため汎用性が高く、さまざまな道具を扱える。

指のパーツが可動し、格闘イメージの表情付けに効果的で、付属する武器類をしっかりとホルドする。



### 脚部

二足歩行で平地/不整地でも良好な移動性を発揮。さらに主兵装である37mmリボルバーカノンを内蔵する。



### リボルバーカノン

37mm対レイバー用装備。通常は右脚部内のタンパーに格納され、必要に応じてポップアップする。ひとつの弾頭内に9個の球形弾を内蔵し、散弾銃のような効果を発揮する。



### 電磁棒(スタンスティック)

シールド側面に設置され、取り外して使用する。接触時の通電量は電子機器だけでなく相手パイロットにも衝撃を与えるほど強力であり、格闘戦ではきわめて有効な武器となる。





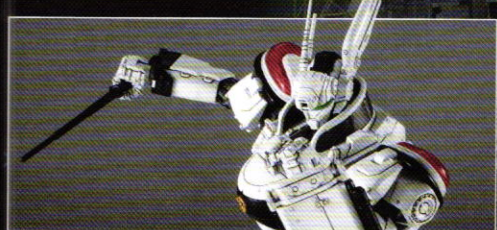
# ト 篠原重工98式AV (通称イングラム)

1998年、続発するレイバー犯罪に対抗すべく、警視庁警備部は独自にレイバー部隊を編制。特車二課中隊(バトレイバー)が発足した。警察用レイバーの開発は篠原重工によってASUKA96MPLが誕生した。しかしレイバー戦に関するデータ不足から、配備直後からASUKAは能力不足を露呈してしまう。この事態を受けて篠原重工八王子工場は「次期MPL計画(のちのAV[Advanced Vehicle:発達型車両]計画)」を立案。1998年に計画1号機が完成した。98式AV「イングラム」の誕生である。

イングラムは、革新的な技術と設計思想が導入された、当時の最新鋭機である。それは動力やフレーム構造、装甲素材だけに留まらず、機体形状や操縦方法にも関係している。イングラムには極めて人間的なシルエットが採用されたが、これは汎用性を重視した結果だろう。作業用レイバーが特定作業で最大効率を達成するための形状をしているのに対し、イングラムは開発当初から多種多様な任務に就くことが予想された。そのため1機のレイバー

で対応するには汎用性を拡大させるしかなく、それには人型をベースとしたデザインが相応しいとの判断が働いたようだ(8mサイズの人型は大概の人間に威圧感を与え、それが犯罪抑止効果に繋がるとのデータもあるほどだ)。また汎用性の拡大は操縦系統の複雑さを招くものだが、ここでも開発者は巧妙なシステムを捻り出している。基本操作はレバーとフットペダルだけでこなし、機体バランスや外部とのフィードバックは搭載OSに託したのだ。これにより操縦担当の負担は減少し、イングラムはその外観とは対照的に極めて扱いやすいレイバーとなったのである。その反面、開発費はうなぎ登りとなり、整備、補修などコスト面での問題が表面化。さらに長引く不況により「レイバー不要論」まで噴出してしまふ。

そして、2013年現在、特車二課中隊では2機のイングラムを保有。両機は開発から10年以上が経過し、改修に改修を重ね、すでにメーカー保証外。経年劣化もあり、整備班による毎日のメンテナンスに余念がない状態である。



シールド、電磁警棒、リボルバー・カノンと各種装備を精密なディテールで再現。電磁警棒は収納状態と使用状態の2種が付属。



胸部装甲の旭日章は金メッキパーツを使用。



肩や肘、膝などの内部フレームのカバーには新素材を使用し、リアル感を追求。

(※画像はビニール製の素材に、しわを付けています。)



肩関節はスイング引出し式で、広範囲な可動域を確保。リボルバー・カノンを両手で構える迫力のあるポーズが可能。

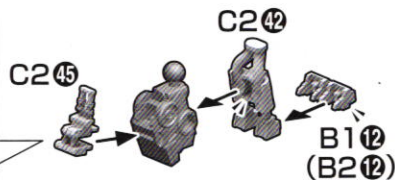
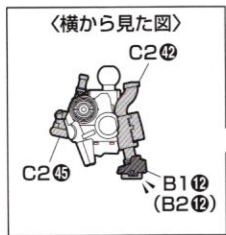
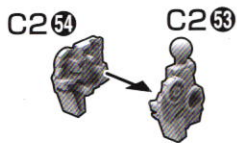
## Specification

型式番号	AV-98
製造	篠原重工
全高	約8m
本体重量	約6t
装甲材質	CFRP(繊維強化プラスチック) FRM(繊維強化金属)
動力	SCB(超伝導バッテリー)
活動限界	約5分
駆動	SCLM(超伝導リニアモーター)
O	LOS
装備	37mmリボルバー・カノン シールド&電磁警棒

# 07-1 [脚部の組立]

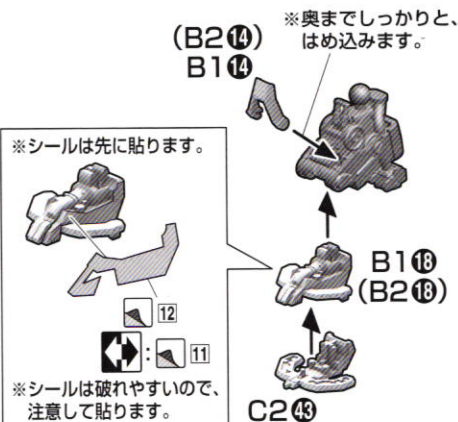
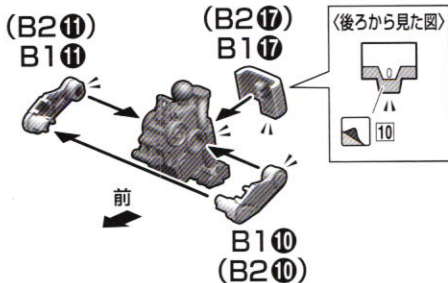
## LEG UNIT

x2



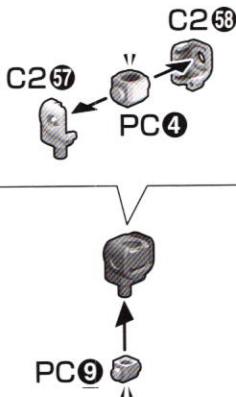
# 07-2

x2



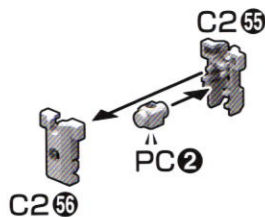
# 07-3

x2



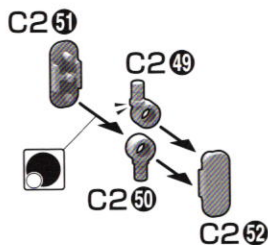
# 07-4

x2



# 07-5

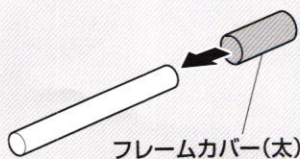
x2



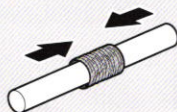
# 07-6

x2

1. ボールペン等、ほど良い太さの棒にフレームカバー(太)を通します。

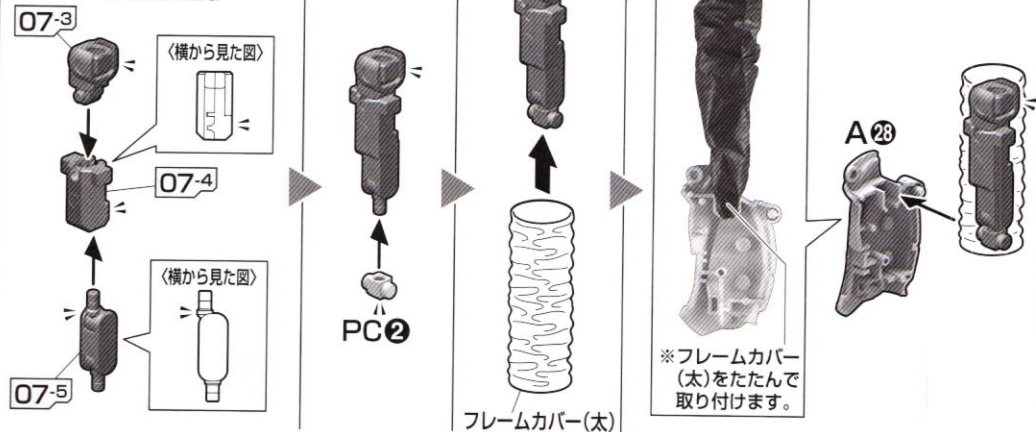


2. 両端を持って、フレームカバー(太)にシワをつけます。

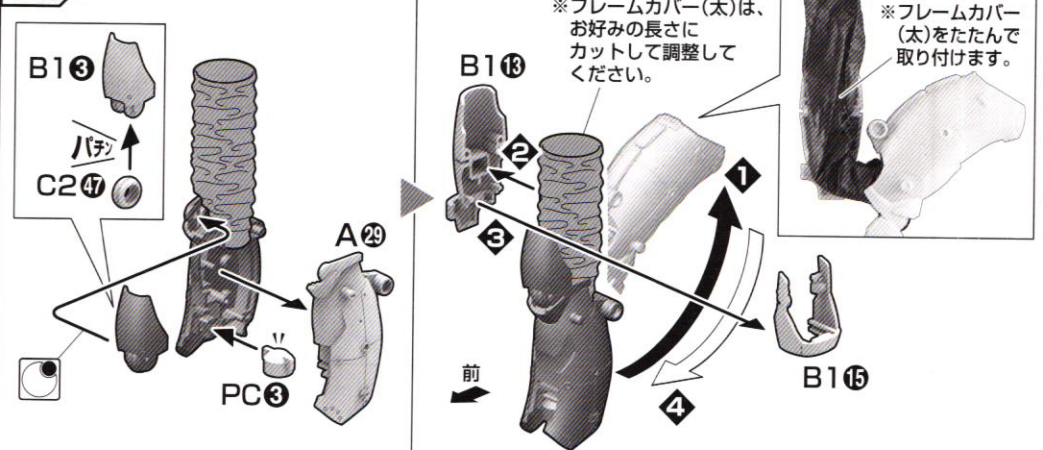


# 08-1 [右脚の組立]

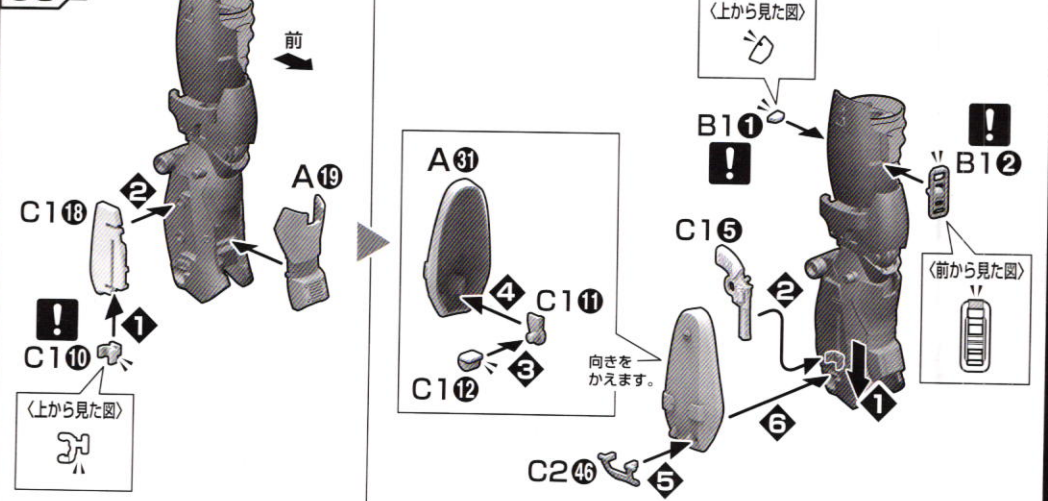
## RIGHT LEG



# 08-2



# 08-3

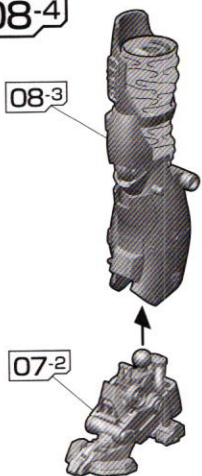
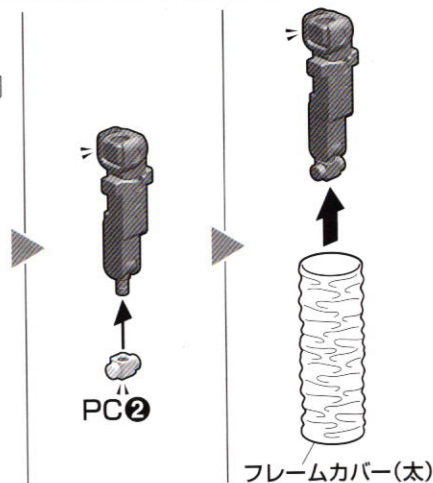
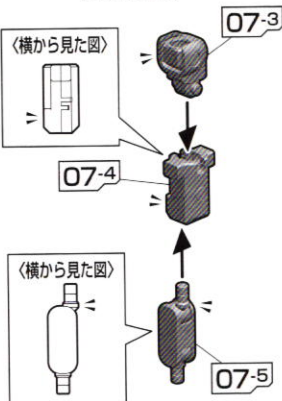


※組立図中の記号説明

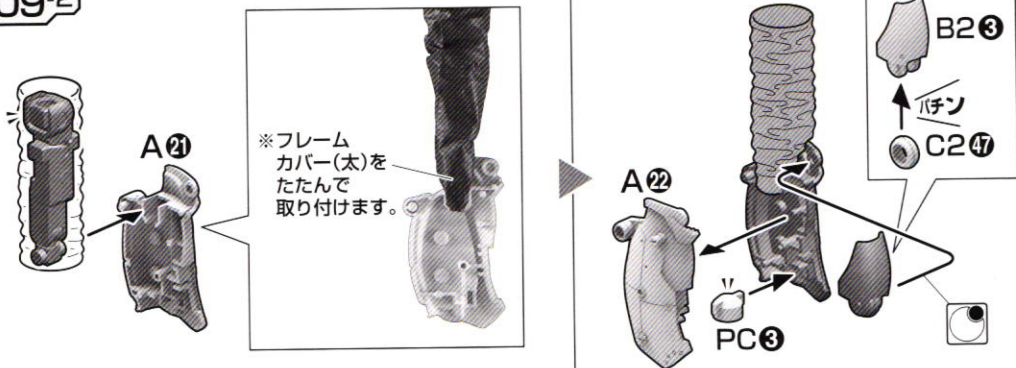
先に組み立てる

向きに注意して組み立てる

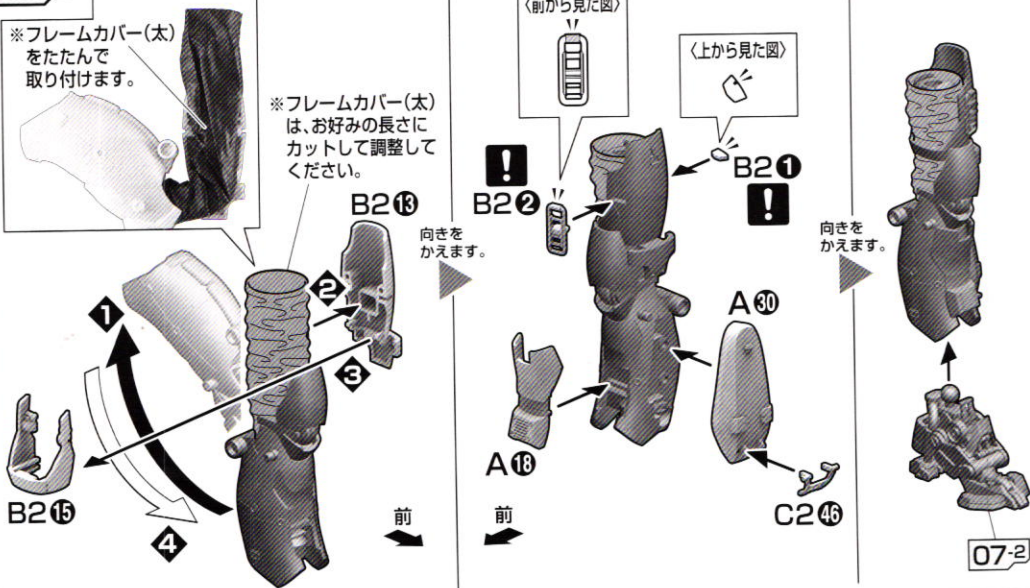
08-4

09-1 [左脚の組立]  
LEFT LEG

09-2



09-3

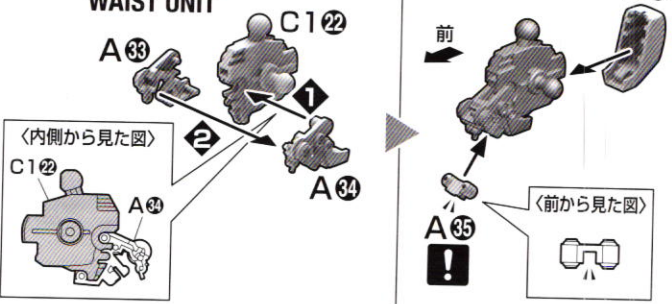


# WAIST UNIT



## 10-1 [腰部の組立]

### WAIST UNIT



## 10-2



C115

横から見た図



※切り取らないように  
注意してください。

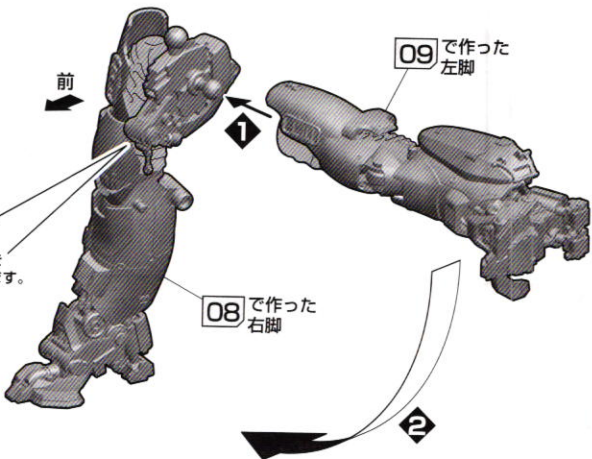
向きをかえます。



前

B119

向きをかえます。



## 10-3

A1

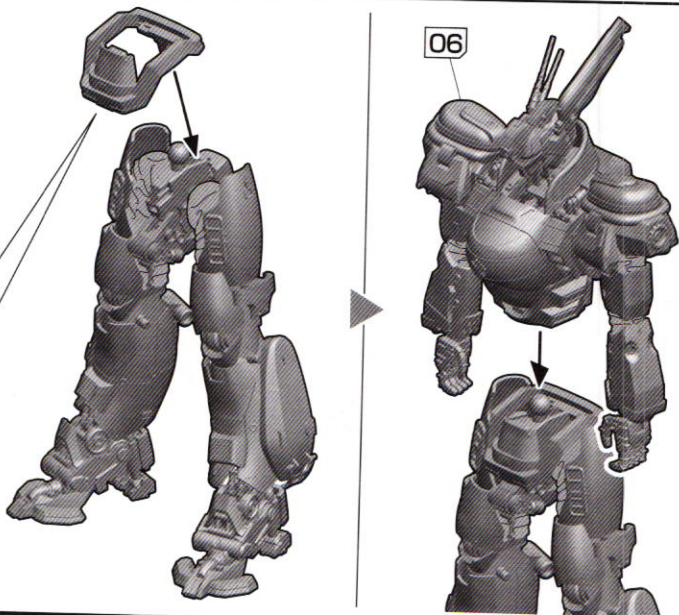
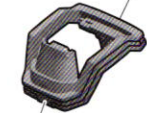


A2



⑧

⑨



※組立図中の  
記号説明



向きに注意して  
組み立てる



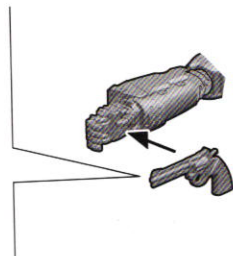
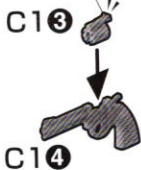
① シールの  
番号

# WEAPONS

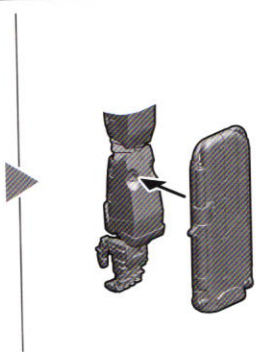
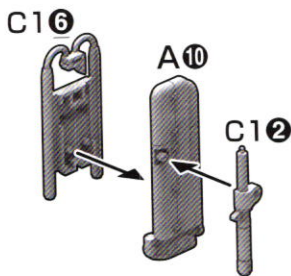
## 11 [リボルバーカノンの組立]



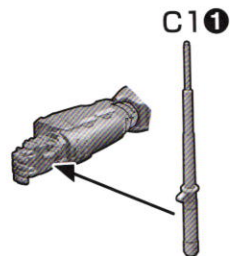
※切り取らないように  
注意してください。



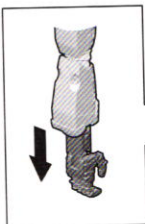
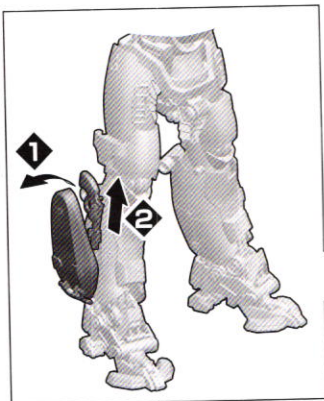
## 12 [シールドの組立]



## 13 [電磁警棒]

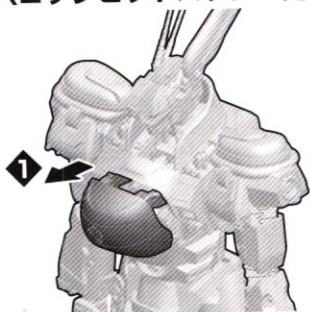


## 14-1



※画像の完成品は  
塗装してあります。

## 14-2 <コックピットハッチの開けかた>



# Seal

〈シール〉

※本商品にはマーキングシールと①から⑬までの水転写式デカールが付属しています。お好みに応じてご利用ください。

このマーキングシール、および水転写式デカールはプラモデルオリジナルのもので、貼り指示は一例ですのでイメージに合わせてお貼りください。

図を見て、マーキングシール、水転写式デカールの貼る位置を確認してください。

※余ったマーキングシールおよび水転写式デカールは好きな所に貼ってください。

※説明のため、一部イラストを省略しています。

※画像と実際の商品は多少異なります。

## 【水転写式デカールの貼りかた】

1. 水転写式デカールは転写するマークより大きめに切り出し、ぬるま湯に3秒間浸し、ピンセットで引き上げます。デカールのいらぬ部分は切り取っておきましょう。
2. 台紙からデカールがすべるようになるまで待ち、表を上にしてすばらせて貼ってください。
3. 綿棒などで押して、気泡を取ってください。

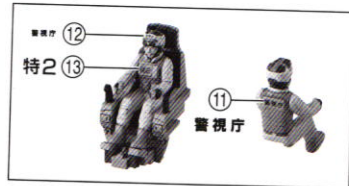
※乾くまで、手を触れないください。

※デカールを貼る部分のキットパーツの油分を、あらかじめ中性洗剤などでふきとると一層よく密着します。

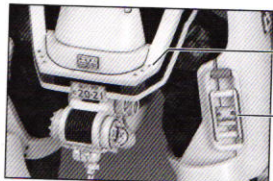
※デカールを貼るための道具(ハサミ、ピンセット、綿棒など)は、別にご用意ください。

※複雑な曲面形状や凹凸形状などに貼るデカールには、密着させるために別売りの水転写式デカール用軟化剤や水転写式デカール用接着剤をご使用ください。

### ＜パイロット＞



### ＜腰部＞

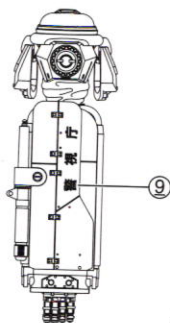


③ 監視庁  
右側も同様

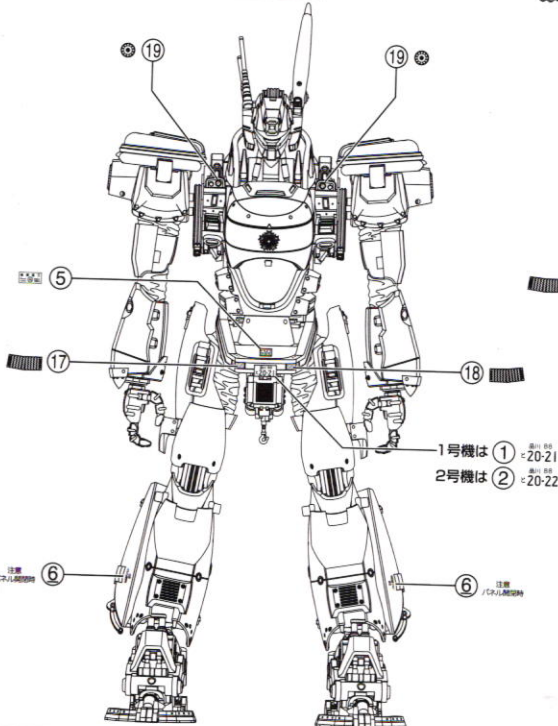
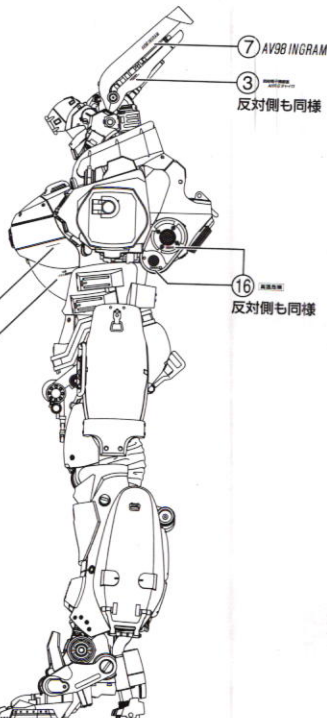
④ 監視庁  
右側も同様

反対側も同様 ⑭

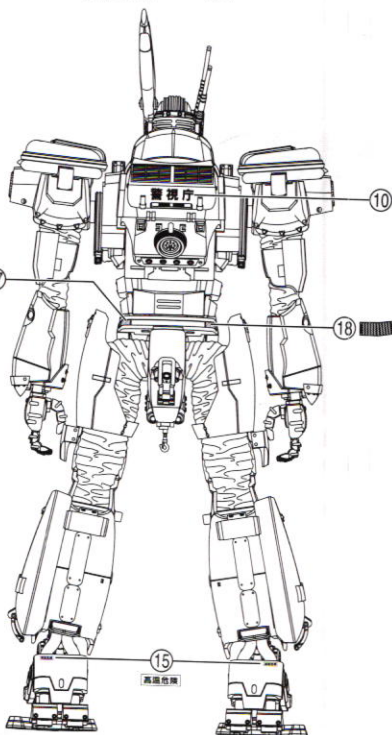
反対側も同様 ⑥



⑦ AV98 INGRAM  
③  
反対側も同様  
⑩  
⑬  
反対側も同様



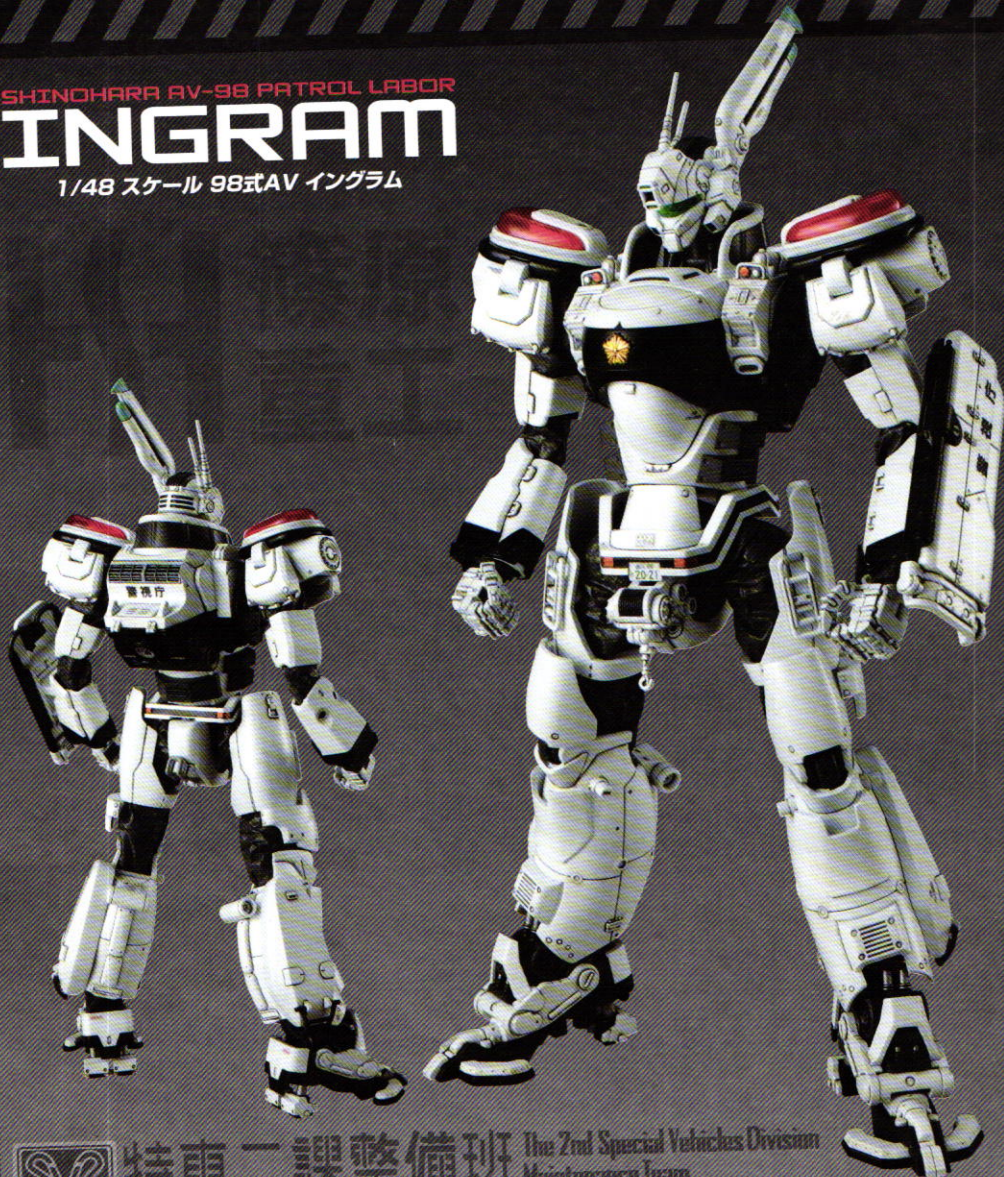
1号機は ① : 20-21  
2号機は ② : 20-22



SHINOHARA AV-98 PATROL LABOR

# INGRAM


1/48 スケール 98式AV イングラム




**SV2** 特車二課整備班 The 2nd Special Vehicles Division Maintenance Team


## PAINTING (塗装) INGRAM


※よりリアルに仕上げたい方は、下の基本色をご覧ください。※塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。  
 ※カラー配合は参考値であり、画像とカラーガイドの色は異なる場合があります。※新素材シーリング(筒状ビニール素材)への塗装は、おすすめてできません。


 本体等 ホワイト部  
 ホワイト(100%)

 本体等 ブラック部  
 ブラック(100%)


 足首、フレーム等  
 グレー部  
 グレー(80%)+ブラック(20%)

 コックピット内部色等  
 ライトグレー部  
 ホワイト(70%)+グレー(30%)  
 +ブルーグレー(少量)

 アンテナ先端部  
 ホワイト(90%)+スカイブルー(10%)  
 +グリーン(少量)


 ウィンカー等  
 オレンジ部  
 シルバー(100%)の上に  
 クリアオレンジ(100%)

 リボルバーカノン  
 黒鉄色(100%)

 コックピットシート等  
 ミッドナイトブルー(100%)

## FIGURE

 顔等  
 ホワイト(70%)+薄茶色(30%)  
 +ピンク(少量)  
 服、ヘルメット等 グレー部  
 ガルグレー(100%)  
 ベスト等 ブラウン部  
 ライトブラウン(100%)

 ヘルメット等 ブラック部  
 ミッドナイトブルー(100%)



## ワンポイントステップ One point step

### スマ入れしてみよう!

スマ入れ用マーカー(別売り)などを使用して、キットのスジ彫りを塗装することで、立体感、リアル感が増します。スマ入れするだけで見違えるような仕上がりになります。



●ここに掲載している情報は2014年9月現在のものです。